

## PRESS RELEASE

2015年5月1日  
株式会社三菱総合研究所

## 2015年1-3月期 GDP 1次速報予測

株式会社三菱総合研究所（代表取締役社長 大森京太 東京都千代田区永田町二丁目10番3号）は、内閣府より5月20日（水）に公表予定の2015年1-3月期のGDP速報（1次QE）について予測を行った。

2015年1-3月期	実質GDP	季節調整済前期比	+0.9%	（年率 +3.8%）
	名目GDP	季節調整済前期比	+1.8%	（年率 +7.2%）

2015年1-3月期の実質GDPは、季節調整済前期比+0.9%（年率+3.8%）と2四半期連続のプラス成長を予測する。内需が持ち直しの動きを続けるなか、景気は緩やかに回復している。

消費は、3四半期連続の増加を見込む。増税前の水準を回復するには至らないものの、所得・雇用環境の回復や消費者マインドの改善を背景に、持ち直しの動きを続けている。設備投資は、企業収益の回復などを背景に、4四半期ぶりの増加を予想する。住宅投資も、住宅着工が持ち直しつつあり、4四半期ぶりの増加となろう。在庫投資は、需要回復による生産財などの前向きな在庫積み増しと、耐久財などの在庫調整の遅れから、3四半期ぶりのプラス寄与を見込む。一方、公的固定資本形成は、14年度前半の公共工事前倒し執行の反動などから、4四半期ぶりの減少を予想する。

輸出は、3四半期連続の増加を見込み、輸入も、内需の持ち直しを背景に3四半期連続の増加を予想する。

表 2015年1-3月期 GDP速報 予測結果

単位：断りがない限り 季調済前期比（%）		2014年			2015年
		4-6月期 実績	7-9月期 実績	10-12月期 実績	1-3月期 予測
実質GDP		▲1.6 (▲6.4)	▲0.7 (▲2.6)	0.4 (1.5)	0.9 (3.8)
	季調済前期比年率				
民間最終消費		▲5.0	0.3	0.5	0.4
民間住宅投資		▲10.3	▲7.0	▲1.2	2.3
民間企業設備投資		▲5.0	▲0.2	▲0.1	1.3
民間在庫	寄与度	1.4	▲0.8	▲0.2	0.3
政府最終消費		0.4	0.2	0.3	0.3
公的固定資本形成		1.1	2.1	0.8	▲1.6
財・サービス輸出		▲0.3	1.5	2.8	1.7
財・サービス輸入		▲5.3	1.0	1.3	0.5
内需	寄与度	▲2.7	▲0.7	0.2	0.7
民需	寄与度	▲2.8	▲0.8	0.1	0.7
公需	寄与度	0.1	0.1	0.1	▲0.0
外需	寄与度	1.1	0.1	0.2	0.2
名目GDP		0.3 (1.2)	▲0.9 (▲3.5)	1.0 (3.9)	1.8 (7.2)
	季調済前期比年率				
GDPデフレーター	前年同期比	2.2	2.0	2.4	3.1
国内需要デフレーター	前年同期比	2.5	2.3	2.1	1.5

注：既発表の実績値についても季節調整等に伴う遡及改定が行われる。  
表中の実績値は、2014年10-12月期2次QEに基づく。シャドー部分が今回の予測値。  
資料：実績は内閣府「国民経済計算」、予測は三菱総合研究所。

《本件に関するお問合せ先》

株式会社 三菱総合研究所 〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号  
政策・経済研究センター 森重彰浩 電話：03-6705-6087 FAX：03-5157-2161 E-mail：morisige@mri.co.jp  
広報部 峰尾 電話：03-6705-6000 FAX：03-5157-2169 E-mail：media@mri.co.jp  
尚、本資料は、内閣府記者クラブに配布致します。